

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) アイチダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) フルカワチトセゼミナール
愛知大学	経営学部	古川千歳ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ) オレンジーナ	フリガナ) イナバカンタ	5	無
オレンジーナ	稲葉貴太		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

研究テーマ（発表タイトル）

高齢者を救う IoT 見守りシステム～共通価値の創造という観点から～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

共通価値の創造（CSV）という観点から、日本の社会問題である高齢者の増加をビジネスチャンスと捉え、一人暮らしの高齢者の不安を IoT 見守りシステムによって解決し、高齢者市場を確立すること。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

少子高齢化が進む日本において高齢者の増加は深刻な問題となっている。また、高齢者の増加に伴い高齢者市場も拡大しており、ビジネスチャンスが潜んでいる。さらに近年 IoT の急成長により IoT の見守りシステムが登場し、需要が高まっている。現在では IoT 見守りシステムの低コスト化が進み供給も進んでいる。

3. 研究テーマの課題

IoT 見守りシステムによって高齢者の不安を解決するためには、家族等が見守ることが困難な場合の対策、家族がいない人は見守る人がいないこと、各企業の IoT 見守りシステムが独立していることといった課題を解決しなければならない。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

各企業の IoT 見守りシステムを一つに統合（プラットフォーム化）しセキュリティ会社が管理するという提案で、

プラットフォーム化により独立していた IoT 見守りシステムが一括管理され、管理が容易となり見守りの質が高まる。また一括化された IoT 見守りシステムをセキュリティ会社が管理することで家族がいない人の見守りを可能にし、家族等が見守ることが困難な場合もセキュリティ会社が対応することが可能となる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

アンケート調査を実施。

〈調査課題〉 IoT 見守りシステムについて 〈対象者〉親世代（20代～50代）高齢者（60代～90代）

〈調査期間〉 10月13日～10月31日 〈回収状況〉 親世代 50人 高齢者 50人

〈調査手法〉IoT 見守りシステムの認知、関心度、理想の見守りの仕方などを紙のアンケートに回答してもらう

6. 結果や今後の取り組み

IoT 見守りシステムを活かし一人暮らしの高齢者の不安を解決することにより、社会問題とビジネスをつなげる共通価値の創造（CSV）を実現する提案を確立できた。今後はこの提案を実現するために IoT 見守りシステムをプラットフォーム化するに当たった課題を見つける。またそのプラットフォームを開発する企業とセキュリティ会社が提携しセキュリティ会社が管理できる体制を整えるための課題を探し出す。

7. 参考文献

- ◆ 2060年高齢者の人口割合予測

- ◆ https://www.nippku.com/column/success-business/su_demand/（最終アクセス日 2017年11月7日）

- ◆ 高齢者市場の市場規模予測

http://www.gld-lab.org/report/2012/1101_1817.html/（最終アクセス日 2017年11月7日）

- ◆ ひとり暮らし高齢者の動向

<https://mainichi.jp/articles/20160518/ddm/008/020/041000c>（最終アクセス日 2017年11月8日）

- ◆ 一人暮らしの高齢者の不安

http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2015/html/gaiyou/s1_3_1.html（最終アクセス日 2017年11月8日）

- ◆ IoT市場予測

注目業界 情報通信・印刷・インターネット IoT&ビックデータ（最終アクセス日 2017年10月20日）

- ◆ バリスタ i ネスカフェ公式ホームページより

<https://nestle.jp/brand/nba/lineup/i/>（最終アクセス日 2017年10月20日）

- ◆ SECOM 公式ホームページ

<https://www.secom.co.jp/>（最終アクセス日 2017年11月8日）

- ◆ ALSOK 公式ホームページ

<http://www.alsok.co.jp/>（最終アクセス日 2017年11月8日）

- ◆ ALSOK 決算説明会資料

<http://www.alsok.co.jp/ir/library/quarterly.html>（最終アクセス日 2017年11月8日）

- ◆ いらすとや ホームページ

<http://www.irasutoya.com/>（最終アクセス日 2017年11月10日）

- ◆ au ホームページ

<https://www.au.com/auhome/charge/?bid=we-we-gn-2602>（最終アクセス日 2017年11月8日）

- ◆ 国民生活基礎調査資料

www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21-h25.pdf（最終アクセス日 2017年11月10日）

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑